

# 大府市における 気になるお子さんへの子育て支援

愛知県 大府市  
健康福祉部 児童課

## 《大府市の概況》

- 人口:84,500人
- 面積:33.68km<sup>2</sup>

- 市制: S45.9.1
- 健康都市づくり  
S62 健康づくり都市宣言  
H18 WHO健康都市連合加盟

## 《児童福祉施設》

- 保育園:市立13、私立1
- 幼稚園:私立4
- 児童センター:8(各小学校区)  
児童単独2、老人複合6
- 子育て支援施設:1  
子どもステーション
- 障がい児通園施設:1  
発達支援センター(指定管理)

※ 市内には、五輪メダリスト、レスリング、アテネ・北京の吉田沙保里、伊調姉妹の練習する中京女子大学と、柔道、バルセロナの吉田秀彦、アテネ・北京の谷本歩実の練習した大石道場があります。  
今夏は甲子園に公立の大府高校が出場しています。

大府市における気になるお子さんへの子育て支援

# 《大府市次世代育成支援対策行動計画》

〈サブタイトル〉

未来へのかけはし渡る 子どもの笑顔

みんなでつくる 子育て応援都市 おおぶ

## 《大府市の子育て支援—経済的支援》

- こども医療費の無料化(中学生まで入院含)
- 保育料第三子無料化(3歳未満児)
- 保育園同時通園割引
- 幼稚園就園助成
- 妊産婦・乳児健診の無料化(妊婦14回、産婦1回、乳児2回)
- 不妊治療費補助(対象額の1/2で上限10万円)



大府市における気になるお子さんへの子育て支援

## 《大府市の子育て支援—事業・相談等支援》

- 子どもステーション  
親子自由来館、子育て広場、情報紙発行、乳幼児育児相談、育児支援家庭訪問、育児講座、子育て(自主)サークル、0歳児を持つ親の交流会、多胎児交流会、パパ交流会、プレママ交流会、ペアレントトレーニング、親子育成支援教室、ファミリーサポート
- 児童(老人福祉)センター  
自由来館、自由参加あそびサークル、こどもクラブ(講座)、ファミリークラブ(親子サークル)、子ども家庭相談、子ども体育教室
- 保育園  
0歳児保育、12時間保育、一時的保育、園開放、園庭開放、親子半日体験入園、子育て相談
- 放課後児童育成クラブ : 各小学校区に配置(6年生まで)
- 子育てガイドブックの配布 : 中学生以下のお子さんを持つ世帯
- 家庭児童相談(虐待防止)

大府市における気になるお子さんへの子育て支援

0歳児交流会



子どもステーションの事業



子育て講座



多胎児交流会(さくらんぼの会)



パパ交流会

大府市における気になるお子さんへの子育て支援

## 《気になるお子さん等への具体的支援策》

### 〈継続事業〉

- 発達支援センター「おひさま」での母子通園、単独通園及び早期療育事業
- 市立保育園(13園)全園での障がい児の受け入れ
- 放課後児童育成クラブでの障がい児の受け入れ
- 小中学校での特別支援員、特別支援学級補助員、スクールライフサポーターの配置

### 〈新規事業〉

- 親子育成支援事業「ジョイジョイ」の実施(気になるお子さんの生活習慣獲得促進事業) 平成20年度～
- 国のモデル事業を活用したペアレントトレーニングの実施 平成19年度～
- 個別の教育支援計画「すくすく」の実施 平成19年度～

大府市における気になるお子さんへの子育て支援

## 《大府市における気になるお子さん支援の経緯》

- 昭和49年度 障がい児保育の開始  
県等の要請により希望者のある園で実施、後に全園で実施
- 昭和50年度 精神薄弱児通園施設「大府学園」開所  
身辺自立に必要な基本的な生活能力や環境に対応する適応性を養い、知的技能を体得させるため
- 昭和56年度 親子療育活動「桃山教室」開始  
障がい児の早期発見と母子療育の推進のため
- 平成14年度 小中学校での特別支援学級補助員の配置
- 平成15年度 小中学校でのスクールライフサポーターの配置
- 平成17年度 精神薄弱児通園施設「大府学園」を改称し、発達支援センター「おひさま」として、指定管理者での運営を開始
- 平成18年度 小中学校での普通学級特別支援員の配置
- 平成19年度 ペアレントトレーニング及び個別の教育支援計画「すくすく」の開始
- 平成20年度 親子療育活動「桃山教室」を拡充した親子育成支援事業「ジョイジョイ」を開始

大府市における気になるお子さんへの子育て支援

## 《気になるお子さん等への子育て支援の要請》

- 特に保育園や小学校（普通学級）で、個別に支援を受けたほうが良いと思われるお子さんが増加しており、落ち着きのあたるクラス運営が困難になってきている。
- 医学の進歩で発達障がいが見つけられるようになったが、診断名のつかない支援の必要なお子さんが急増している。
- 核家族化などで子育てが家庭で継承されなくなっている。また、仕事との両立で育児にかかる時間が少なくなり、子育てを重荷に思ったり、不安に思う保護者が増えている。
- 障がい児通園施設の定員が一杯という状況もあるが、気になるお子さんの増加や様々な特性を持つお子さんへの対応が必要となり、これまでのシステムでは対応ができなくなってきた。
- 早期発見し、お子さん各々の支援につなげるためには、一貫した支援システムの構築が必要となってきている。
- 障がいではなく、発達のゆっくりなお子さん、発達の気になるお子さんという発想がないと支援につなげないケースが増加している。

大府市における気になるお子さんへの子育て支援

## 《気になるお子さん支援の具体的課題》

- 支援の場をどのような人材で運営するか。
- 障がいや発達障がいに対する無理解で支援へのハードルが高いことをいかに解消するか。
- 出生児の約1割といわれている個別に支援を受けることが望まれるお子さんを、いかに支援の場につなげるか。
- 療育の必要を認識しない保護者の場合、障がい児の施設となると拒否されるケースが多く、場所の選定に配慮が必要。
- 多くの発達障がいの場合、支援開始は5歳では遅いといわれており、いかに乳児期で発見し、いかに保護者が就労を開始しやすいお子さんの就園前に支援を開始するか。
- 保護者(特に母親)のスキル習得が大切であるため、保護者の育児知識不足や育児不安の解消をいかに行うか。
- できるだけ多くの日常生活の場面を教室内で設定していくことが望まれる。

大府市における気になるお子さんへの子育て支援

## 《親子育成支援事業「ジョイジョイ」》

### ① 目的

- 生活経験を通して基本的な生活習慣を身に付ける。
- 友達と触れ合いながら、社会性の芽生えを育てる。
- お子さんへの関わりを学びよりよい親子関係をつくる。

### ② 対象：発達気になる幼児と保護者

### ③ 定員：各教室10組 参加費-昼食代200円

### ④ スタッフ：保育士3～4名、保健師、臨床心理士

### ⑤ ステップアップ教室：週1回 22回(5～6ヶ月)コース

- 月～金：一般 ・ 土：保育園児、幼稚園児
- 保育園で現在6教室開設(9時半～12時半)
- あいさつ、親子活動、片付け、トイレ、食事等

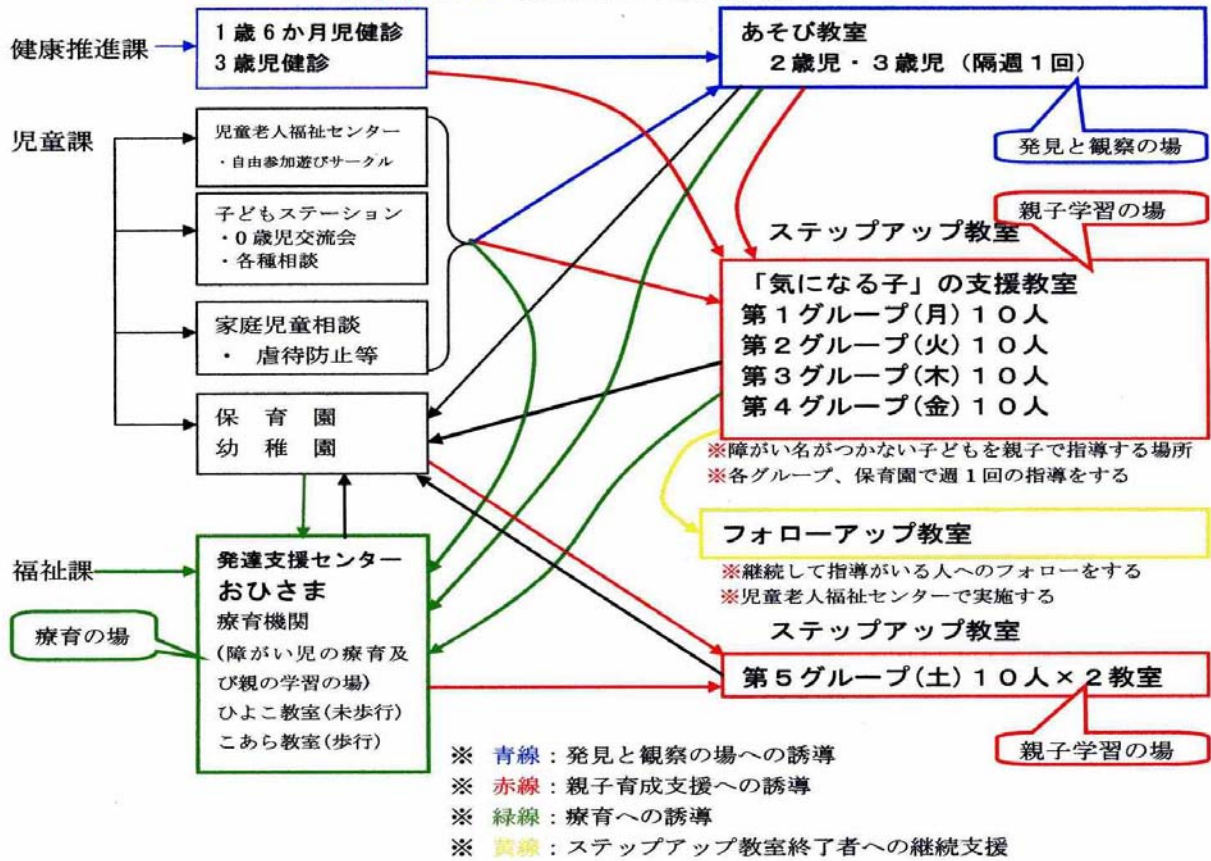
### ⑥ フォローアップ教室：ステップアップ教室修了者のフォロー



大府市における気になるお子さんへの子育て支援

# 「気になる子」の子育て支援計画

※赤枠と黄枠部分が親子育成支援教室



## 親子育成支援教室 ジョイジョイの実施状況



自由遊び



親子遊び(主活動)



大府市における気になるお子さんへの子育て支援

## 《ペアレントトレーニングの実施》

### 〈対象〉

- 1歳から3歳のお子さんを持つ保護者で子育てに困難さを感じている方（1講座10名程度）

### 〈方法〉

- お子さんの特性を理解し、親自らが意識を変えながら子育ての仕方を学んでいく。また、他の保護者との意見交換の中から自分の努力を認識していく。
- 『ほめ育てプログラム』

### 〈講座内容〉

- 5回講座 90分/回 無料
- 講師：中京大学社会学部教授 辻井正次氏

⇒ 将来的には保育士で対応できるよう準備中

※ 国のモデル事業を活用(19年度は市民向けの特別講座(4回)も実施)

大府市における気になるお子さんへの子育て支援

## 《個別の教育支援計画「すくすく」の実施》

- 小学校や保育園等において、日常生活の中で個別の支援を必要とするお子さんの情報を記録し、小学校や中学校での継続的な支援につなげる。
- 支援を必要とするお子さんのうち、保護者の了解を得て記録を作成。
- 保育指針にある保育要録との連携をとり様式を作成。
- 19年度データを20年度小学校へ送付。

## いっしょにはじめましょう

お子さんの個性に合わせた計画的・継続的な支援

### ささえる

実態や特性に合わせた支援によって、特別な教育的ニーズをもつお子さんと、子育てに携わる保護者の力を支えます。

### そだてる

乳幼児期から中学校卒業まで、個別の教育支援計画を用い、保護者の方といっしょにお子さんにかかわる者・機関が適切な役割分担と連携のもとに、一貫して計画的にお子さんを育てます。

### つながる

保育園・幼稚園・小学校・中学校が連携することで、お子さんの実態・特性や教育的支援の目標・内容等の情報を共有し、継続的に適切な支援をめざします。さらに、保育・教育、保健、福祉、医療、労働等にかかわる機関が相互につながり、お子さんを支援します。

## すくすく

個別の教育支援計画



大府市・大府市教育委員会

大府市における気になるお子さんへの子育て支援

## 《気になるお子さんの子育て支援・今後の課題①》

- 市全体での支援体制の維持・拡充
- 発達障がいを取り巻く環境を理解し、市全体をコーディネートできる人材の継続的な確保
- 支援の場面での専門性を持った人材(臨床心理士、作業療法士、言語聴覚士、医師など)の確保と育成
- 早期発見体制の充実
- 気になるお子さん親子を取り巻く環境(支援する各組織)での考え方と言葉の共通化(連携のとれた支援体制の確立)
- 個々の家庭で家族を含めたトータルな支援体制の整備促進
- 支援場所の移行時における連携体制の確立
- 自立支援協議会との連携(お子さんのライフステージに応じた一貫した支援体制の整備)

大府市における気になるお子さんへの子育て支援

## 《気になるお子さんの子育て支援・今後の課題②》

- 発達障がいを含む子どもの発達に対する正しい理解の普及
  - ・発達障がいなどが、個々の育ちの特性であることを啓発
  - ・親子育成支援事業やペアレントトレーニングがお子さん  
に与える好影響を積極的にPR
  - ・保護者の方々へお子さんの状況を正しく伝え、生育の現状と見通しを適切に伝えることにより、保護者の方々の安心と覚悟につなげる
- 相互理解に支えられた**共生社会の実現**という思想を根底に持ち続けること

大府市における気になるお子さんへの子育て支援



背景:大府市役所庁舎

ご清聴ありがとうございました

大府市における気になるお子さんへの子育て支援